

HISAYA PRESS



2A

1A

HISAYA-ODORI St.

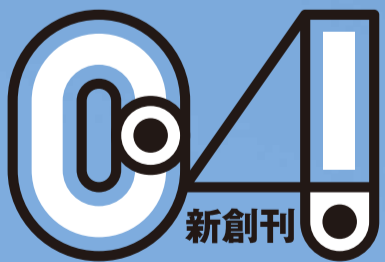
HISAYA-ODORI St.

4B

7A

8B

VOL.01 APRIL 2022



TAKE FREE HITO 01. WATARU SATO
HITO 02. URARA IIO
HISAYA EVENT

Hisayaodori Park

1
2
4

3

HISAYA PRESS

HISAYA PRESS

♪ Hisaya odori Park

HELLO!!

春です。みんなおいでよ!

はじめまして、「公園の人」です

「公園ってなんだっけ?」って考えたら、行き着いた先は「人」でした。何かやってるのも何か考えてるのも遊びに来てくれるのも、人。誰にとっても身近で日常的な存在になれたら、きっと公園にとってはそれが一番いい。この誌面を通じて公園の日常を編集した先に、「公園って、なんかいいよね」って思ってもらえたらうれしいです。今から、いい季節。じゃ、公園集合で! なんてね。

ヒサヤプレス編集長
大倉 暁 @aakkiirraa
広告会社、ネットベンチャー、自治体職員など多様なキャリアを経て独立。2020年5月より、公園を運営する「Hisaya-odori Park デザインセンター」に参画。マーケットやボランティア活動、野外映画上映会など、園内のさまざまな企画作りや実施を担当。「CINEMA CARAVAN」をはじめ、園外での活動も多岐にわたる。



編集部おすすめ、公園の楽しみ方

河津桜を皮切りに多様な花が咲き、木々が芽吹き、新緑が気持ちいい。芝生メンテナンスを終えた緑一面の景色に迎えられ、爽快なピクニックも、「シバフヒロバ」でハンモック(3時間500円※11:00~17:00)を借りてリラックスするのが最高です。大人もぜひ裸足で。

「RAYARD Hisaya-odori Park」の「雨の日割」や、傘の貸し出しサービス「廻りかさ」があり、雨でもご安心を。夏本番となったら青空の下で、ひんやりアイスや外飲み日和。夕方には「ミスベヒロバ」水盤のミスと照明の演出が涼しく、なんともエモーショナルです。

穏やかな気候が続く、屋外イベントのハイシーズンは話題が目白押し。「RAYARD Hisaya-odori Park」には食欲そそる秋限定グルメが充実します。栄のまちなかで、夕陽を眺めるひとときも贅沢。紅葉散歩は「シバフヒロバ」南角に近いイチョウの御神木をお見逃しなく。

植物たちの冬支度も着々と。寒い季節は、ホットドリンクを飲んでホッと一息つく、静かな時間も大切ですね。「ミスベヒロバ」を舞台にした毎年恒例のインスタレーション「アカリバ久屋」のモチーフは、愛知県花のカキツバタ。花言葉は「幸せは必ず来る」です。



春

夏

秋

冬

HiTO 01

写真の人
佐藤 航さん
WATARU SATO

美しい季節、日々の記憶。公園を1年間撮り続けてみたら...?



佐藤 航 @ocowataru
フリーランスフォトグラファー。フィルムカメラとして、名古屋、東京、大阪を拠点に国内外を歩きまわしながら多方面で活動中。主に、企業広告やミュージックビデオの制作に携わる。2021年5月から「Hisaya-odori Park」のオフィシャルカメラマンに就任。兵庫県出身。

僕たち編集部がフォトグラファー・フィルムメーカーの佐藤航さんと出会ったのは、「RaiCafe Nagoya」の紹介がきっかけ。写真も動画も上手でグループウェアが向う航さんに、公園のことを改めて聞いてみました。

「毎月、公園の撮影ありがどうですか?」
「イベントの多い秋は毎週来てましたね(笑)。
季節ごとに園内で撮影した映像をまとめて、Webや「メディアヒロバ」の大幅面に掲載していますが、撮りためたものを振り返り起す編集中にイベントや行き交う人の表情を見返す時が一番やっていて良かったなって思います。」

「あの動画は公園の素敵な瞬間というか、いい空気がいつもありますよね。」
「ありきたりな風景ではなく、空気を優先しているところはありますね。いい天気でもみんなが外に出なくなる日とか、今日の夕陽は無性に心を奪われるとか、公園に来た人の気持ちが伝わる瞬間です。」

「航さんが感じる、公園の魅力は?」
「いいなって思う場所が、季節によってそれぞれ違うんです。撮影時には園内全域を北から南まで歩いて回るのがルーティンで、イベント撮影だけのときもずっと欠かさず。顔馴染みの人が増え、仲良くなると、人と会う楽しさもできました。」

「毎回1周! 僕たちが気づかない変化を見つけている理由は何ですか?」
「南北約1km、4つのゾーンを歩いて巡る時間で、頭の整理ができるんです。仕事が忙しくて煮詰まっていた時、平日にゆっくりしている人を見て、「自分も落ち着こう」とって気持ちがリセットされたことも。僕にとって必要な場所ですね。」

桜

「やっぱり自然が多いから、園内周辺も含めてずっと見ていると、季節の移り変わりがわかるようになるのがすごいと思います。春は「ZONE 3」に桜やコブシの花が咲いているなどが。」

「みんなで遊ぶ芝生を自分たちの手で整備しよう、という年数回のボランティア活動にも注目。撮影時に自然と挨拶できる関係になって、これも公園の気持ちいいポイントだなと感じています。」

緑



紅葉

「夏は「ZONE 2」の細い脇道を入ったところに広がる緑の木陰、秋は人が集まる賑やかな「シバフヒロバ」と紅葉、冬は水盤からタワーを見上げると空が澄んでいてきれいです。」

空



「Hisaya-odori Park」は、日本最大級のPark-PFI(公営設置管理)制度を活用した約20年にわたる事業だと聞きました。公園とずっと向き合っていくのはなかなか大きな仕事ですね。」

HiTO 02

HISAYA MARKETの人
飯尾 うららさん
URARA IIO

野菜やTO GOフード、雑貨などなど「HISAYA MARKET」スタートです

「Hisaya-odori Park」のオープン前から、「広い芝生でいろんな人たちが集まり、体験できるファーマーズマーケットがあるといいね」と言っていたのがいよいよ現実。デザインセンターと数々の意見交換を重ねて、マーケットを運営していただくのが「暮らしの朝市」の飯尾うららさんです。「毎月10日はヒサヤ」が合言葉!

「僕たちが待ちに待ったマーケットです。公園という場所で開催する、今の思いは?」
「すごく可能性を感じました。お寺は朝市目当ての人が集まる場所ですが、公園には常にたくさん人がいて、興味を持ってもらえる幅が広いです。マーケットではなく、普段の公園を望む利用者さんやご近所の皆さんにももちろん配慮して、様子を見ながら実施していきます。敷居が低いマーケットなので、お客さんが出店者側や運営側にもなり、どんどん活性化したいですね。」

「誰もが関わりたくなる「関わりしろ」が多いのは、自由な公園のあるべき姿ですよ。『暮らしの朝市』と『HISAYA MARKET』の違いはありますか?」

「HISAYA MARKET」は公園のみならず1年くらい話し合い、公園×店舗×地域が一体となって取り組む企画で、テーマは「公園を楽しむ」。お友だちやご家族と一緒に買い物やワークショップ、芝生広場で休憩などの「時間を過ごす」という基準で、出店者さんも選びました。地元生産者さんのオーガニック野菜や食品、雑貨、アクセサリ、日用品などを集めた学びのあるマーケットです。毎月10日という日にちを決めて行うことで日常の一部となり、平日と土日祝の客層や雰囲気が変わるのも魅力。「あそこに行ったら何か楽しいよね」という感覚で来てもらえたらうれしいです。」

「Hisaya-odori Park」の印象や「もっとこうなったらいいな」と期待することは?」
「過去にここで開催された「アースデイ名古屋」の実行委員長を夫が務めており、自分たちも出店していた思い出がある場所です。地に足がついた自然に寄り添う暮らしを、まちなかでも体験できるような家庭菜園などが作れたらいいですね。」



「雨の公園もいいけど、『HISAYA MARKET』は晴れてほしいですね!」

飯尾 うらら @inuuniqivillage_urara
愛知県津島市のオーガニックカフェ「INUUNIQU VILLAGE」を夫婦で経営。東海地区最大規模のマーケット「東別院 暮らしの朝市」や商業施設のマーケットイベントを運営するなど、関係者や地域の人々とのパイプ役として活動する。3人の子育てにも奮闘中。



HELLO!! HISAYA PRESS

HISAYA EVENT



MONTHLY PICK UP

4/10 SUN

HISAYA MARKET

Hisaya-odori Park
シバフヒロバ 10:00~15:00



初チャレンジのマーケットイベントです。今まで外出しづらくてたまった気持ちを吹き飛ばしてくれる、結構楽しい空間になるんじゃないかと！春の新生活やおでかけ気分ぴったりです。

4/16 SAT

芝生整備ボランティア

Hisaya-odori Park
ケヤキヒロバ 10:00~12:00



芝生を掃いてホコリを取るだけで、みるみる芝生の色が美しくなるんです。学生から単身赴任の人まで、ボランティア同士のつながるきっかけにも。朝からちょっといいこと、いかが？

4/23 SAT

HISAYA CINEMA [E.T.]

Hisaya-odori Park
ケヤキヒロバ 18:00~21:00



童心を思い出す、不朽の名作映画を野外上映。エリオットがE.T.を自転車のかごに乗せ、満月をバックに空を飛ぶあのシーンを夜風に吹かれて観たら、ぐっと気持ちが入ります。

<p>4/9 SAT DJイベント</p> <p>Hisaya-odori Park テレビーヒロバ</p>	<p>4/9 SAT オアシス21 withドラゴンズストアサカエ 「カトリナの全部全力!」公開録音スペシャル</p> <p>オアシス21 銀河の広場</p>	<p>4/10 SUN パンマルシェ17</p> <p>オアシス21 銀河の広場・緑の大地</p>	<p>4/12 TUE-9/11 SUN 放送体験スタジオ 「わくわく」臨時館</p> <p>NHK NHKビル 1F プラザウエーブ21</p>	<p>4/16 SAT いのちのコンサート</p> <p>Hisaya-odori Park テレビーヒロバ</p>
<p>4/16 SAT-17 SUN ソーシャルタワーマーケット 2022</p> <p>オアシス21 緑の大地</p>	<p>4/17 SUN フェアトレード・ツキイチ・マルシェ</p> <p>Hisaya-odori Park シバフヒロバ</p>	<p>4/21 THU-22 FRI ロイヤルフラワー アレンジメント作品展</p> <p>NHK NHKビル B2F</p>	<p>4/22 FRI-23 SAT メーデー</p> <p>Hisaya-odori Park テレビーヒロバ・シバフヒロバ</p>	<p>4/23 SAT-24 SUN ラバカルチャースピリット 2022</p> <p>オアシス21 銀河の広場</p>
<p>4/24 SUN 芝生チル</p> <p>Hisaya-odori Park テレビーヒロバ</p>	<p>4/25 MON 県警音楽隊 街角コンサート</p> <p>オアシス21 銀河の広場</p>	<p>4/29 FRI-7/3 SUN ミロ展 ー日本を夢みてー</p> <p>愛知芸術文化センター 10F 愛知県美術館</p>	<p>4/30 SAT ラテンダンス、 ラテンフィットネス体験型イベント</p> <p>Hisaya-odori Park テレビーヒロバ</p>	<p>WEEKDAY ※原則 MON-FRI 「さらさらサラダ」 公開生放送</p> <p>NHK NHKビル 1F プラザウエーブ21</p>

掲載しきれなかったイベントもまだまだ多数あります。詳細や最新情報は、各施設のチラシやSNSをチェック。

「Hisaya-odori Park」のヒロバは、案内図をご確認ください。MAPはコチラ▶



「Hisaya-odori Park」のイベント詳細情報はコチラ▶



「RAYARD Hisaya-odori Park」では、雨の日に来店すると受けられるおトクなサービスをさまざまなショップで実施。雨の日も楽しくおでかけを。コチラ▶



お買い物の度にポイントUP 三井ショッピングパークカード
「RAYARD Hisaya-odori Park」他、全国の対象施設でポイントをためて使える便利なカード。年会費永久無料で、新規入会者を募集中です。

- ① 100円で2ポイントがたまる
※クレジット払いの場合(他は1ポイント)
- ② 5のつく日のみ
100円で2ポイント→5ポイントに



編集後記

みんなで一緒に使って育てる、
これからの「私たちの公園」。

「公園ってなんだっけ?」って、結局今もずっと考えてます。今号で佐藤航さんと飯尾うららさんのお話を実際に聞いてみたら、それぞれの公園観にもワクワクしてきて、身近な日常をいろいろな人が持ち寄って表現する場所になっていくと、ここに来た人にも新しい発見や気づきがあるんじゃないかな、なんて思えました。「公園は公園じゃん」って決めつけしないで、僕たちなりのモアベターな公園のあり方があるのかも。いや、だってさ、公園がつまらない街は、おもしろくないでしょ?笑 「Hisaya-odori Park」がオープンして、2年目の春を迎えました。人も、心も、空気も通う気持ちいい場所。たくさんの言葉を交わして、一緒に考えて、みんながハッピーになれる「公園」を育てていきましょう。毎月の「ヒサヤプレス」をよろしくお祈りします!(大倉)

COVER Photograph
Wataru Sato (loco)

STAFF Editor in chief
Akira Okura (Hisaya-odori Park DESIGN CENTER) Photographer
Wataru Sato (loco)

Deputy Editor
Yuhei Yamamoto, Miki Murase (MAISONETTE) Copywriter
Minami Matsushita (Nippon Design Center)

Editor
Chihiro Ishii (MAISONETTE) Producer
Shinshin Miyamoto (Nippon Design Center)

Art director
Hiromi Ikeda (Nippon Design Center) Illustrator
Miyuu Yamauchi (MAISONETTE)

Hisaya-odori Park DESIGN CENTER
Daisuke Fujita, Ryuta Mizokawa, Daigo Miyamoto, Saho Nakatomi

HISAYA PRESS issue 公園ってなんだっけ?

発行 Hisaya-odori Park DESIGN CENTER
461-0001 愛知県名古屋市長区東1-23-36 NBN泉ビル6-A
©Hisaya-odori Park DESIGN CENTER 2022

※掲載内容は2022年3月末現在の情報です。
本誌の記事、写真、イラストなどの無断複製・複製・転載を禁じます。

Web ▶ rhp.nagoya
LINE ▶ @Hisaya-odori Park
Twitter ▶ @hisayaodoriipark

「ヒサヤプレス」の
配布先はコチラ▶

